

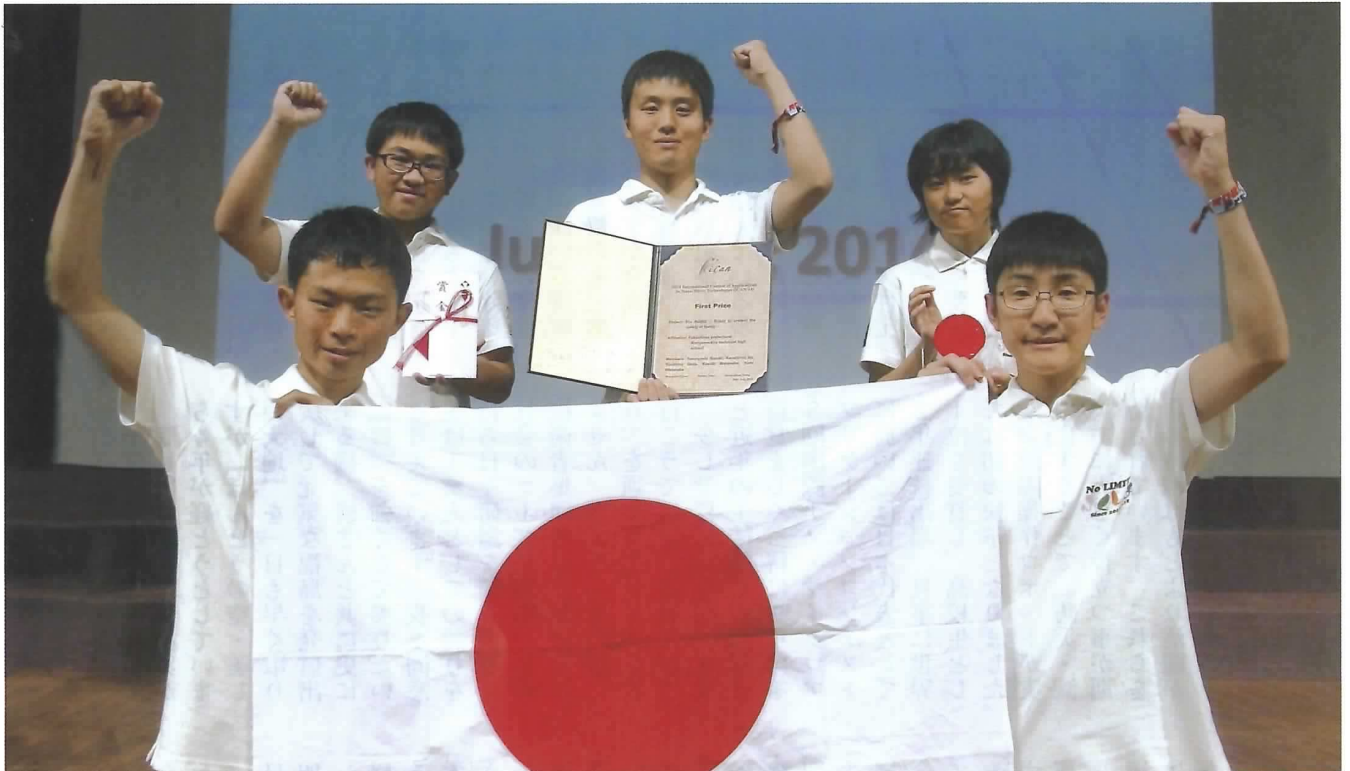


福島県立郡山北工業高等学校

同窓会報

第65号

2015



第5回 国際ナノマイクロアプリケーションコンテスト世界大会 コンピュータ部 First Prize(1位)受賞

CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成26年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 飛躍! 北の駿馬たち2014	7
母校近況	
生徒会だより、大会成績報告	8
進路状況	9
平成25年度決算報告・会務報告	10
平成26年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
北工この1年	12
ゴルフコンペ・事務局だより	



最新情報は同窓会WEBで

定期総会のお知らせ

■平成27年度定期総会を下記のように開催いたします

- 日 時 / 6月27日(土) ●午後5時00分より 総会(予定)
- 午後5時50分より 懇親会(予定)
- 会 場 / ビューホテル・アネックス 郡山市中町10-10 ☎ 024-939-1111
- 会 費 / 5,000円(平成26年度卒業生は3,000円)

※詳細については同窓会HPもしくは事務局へお問い合わせ下さい。
 同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849
 ※参加される方は事前に同封の振込取扱票を利用して参加費を納入して下さい。

■水戸支部総会

- 日時 / 平成27年11月頃
- 場所 / クリスタルパレス

■日立支部総会

- 日時 / 平成27年7月頃
- 場所 / 天地閣

平成28年は郡山北工業高校40周年となります。
 同窓会名簿を制作いたしますので御協力をお願いします。

郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>
 同窓会HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/KitaTechHP/dousou/dousoutop.htm>
 同窓会事務局代表メールアドレス dousou@koriyamakita-th.fks.ed.jp

会長あいさつ

同窓会会長

古川 弘



新春を迎え同窓会の皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお喜び申し上げます。又、日頃より本会及び本校に対し物心両面にわたり多大なるご貢献を頂き誠に有難うございます。紙面をお借りしまして衷心より御礼申し上げます。

昨年の総会は6月21日にホテル・ハマツにおいて開催させて頂きました。ご来賓の皆様を初め多くの仲間のご出席を頂き、盛会に開催することが出来、改めまして会員皆様のご協力、ご助言に心から感謝申し上げます。

東日本大震災から4度目の正月、更には阪神淡路大震災から20年が経ち、人は自然災害の恐怖から何を学び、何を伝えて行くべきか

各地でイベント・報道などを通じて元気が発信され互いに情報の共有、協力し合う事で防災意識の高まりも感じているところです。又、多くの方々のご支援を頂き福島の再生、復興もようやく先の見える形が整い除染に関する中間貯蔵地の確保、地権者の方々の深いご理解と並々ならぬ覚悟のもと動きだしておりますが今尚、多くの方々が避難を強いられ多くの県民が放射能の被ばくの不安を抱えている現実を目の当たりにした時、除染対策は勿論のこと帰還可能な方々の為の復興公営住宅、自立支援戸建て住宅等新たな街づくり、そして雇用促進、心のケア、夢が持てる地域社会の形成を急がなければなりません。

昨年末の国政選挙では自民党、公明党の圧勝で再度、政権担当として国民の負託に答えられるかが問われる一年になりそうです。新たな自然エネルギー・再生可能なエネルギーをどう創設していくのか、政府のリーダーシップに大きな期待を寄せている一人です。間もなく東日本大震災から4年が経とうとしていますが『ほんとうの空・美しい大地』を一日も早く取り戻して元氣な福島を発信出来る様、皆さんと共に更に『絆』を強くして参りたいと考えています。我々同窓生は工業人としての誇りを持ち日々研鑽を積み重ね、社会のニーズに即応できる技術者集団でなければなりません。今こそ『ものづくり』を通してアピールして行こうではありませんか。少し学校に目を向けますと近年の生徒諸君の活躍は目覚ましく、特に昨年は第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテストに於いては日本代表として2年連続出場、見事に世界1位を受賞し、高校生としては初の快挙となりました。この遠隔操作ロボットが実用化することで『防災・減災』に大きく役立つ事が期待されています。これらを含め地域はもとより活躍が報道される度に多くの方々

スポーツの面でも昨年の春高バレーの全国大会出場をはじめとして各部活での懸命なプレーに感動を頂いております。

昨年の総会は東京、水戸、日立支部の皆様にも大勢参加して頂き恒例のゴルフコンペも大盛況でした。お陰様で盛会に終了できました。その後の懇親会の席上では本校の活躍をテレビで紹介されたビデオを放映し盛り上がりを見る事ができ、会場の皆さんに生徒諸君の躍進を発信することが出来ました。毎度のことながら、各テーブルでは懐かしき言葉を交わす光景を見るたびに同窓会の素晴らしさを肌で感じ取ることが出来ました。同窓会の歴史を語る時、諸先輩方の並々成らぬ努力と厳しい環境で有りながら社会変化の対応を的確に捉えて参られました事に對し、改めて敬意を表する次第です。昭和52年には統合され郡山北工業高等学校として八山田に新たなスタートを切った訳ですが平成28年度は創立40周年を迎える事になります。同時に前進校の郡工、西工のからは72周年となります。今から準備に

入り残り多い周年事業にしたいと考えております。特に新同窓会員となられた皆様、心から歓迎申し上げます。相変わらず厳しい社会環境が続いていますが今後

は特に若い皆さんの技術に期待が寄せられているものと思えます。本校で学び培った知識と創造力を發揮して更に上を目指して欲しいと願っております。結果を恐れることなく日々努力することで大きな目的が達成されることでしょう。

今年の定期総会は6月27日(土) ビューホテル・アネックスに決定させていただきますました。同窓会の『絆』を更に強固なものとする為にも多くの皆様のお席をお待ちしています。結びにあたり会員各位並びに関係者の皆様益々のご活躍とご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。



校長あいさつ 「世界に雄飛する北工」

校長 高城 友治



昨年本校に赴任いたしましたので、今年で2年目となります。

1年目は、生徒の素晴らしさとそれを指導する先生方の熱意の深さに驚かされ続けた毎日でした。

その成果が実り、福島県内の高等学校で最も新聞やテレビに報道された学校であると自他共に認めるほどの活躍ぶりであり、北工の職員であることを誇りに思う気持ちで一杯でした。

今年度におきましても、その勢いが止まることなく、昨年にも増す成果を上げることが出来ました。

今年の7月、東北大学で行われました、「国際ナノマイクロアプリケーションコンテスト世界大会」において、4種類のセンサーを活用し多くの災害から家族を守る、多機能型セキュリティロボット「Pro

ROBO」で念願のFirst Prizeを受賞しました。

2012年の北京大会で敢闘賞、2013年のバルセロナ大会で第2位、それぞれの大会における参加メンバーは異なりますが、着実にコンピュータ部としての力を蓄積しています。

また、今回の優勝により、平成27年1月6～9日にアメリカのネバダ州ラスベガスで開催された世界最大級のIT&家電ショー「2015 International CES」に3年生3名が参加しました。世界中の名だたる企業と共に展示ブースを設け、2日間にわたり全世界の参加者に「Pro ROBO」のPRを行いました。

また、電気部におきましては、昨年度の全日本学生児童発明くふう展で内閣総理大臣賞を受賞した「グラス・カッター酪DA農（らくだのう）」に続き、牛などの血を吸って弱らせる害虫のアブを効率的に駆除する装置「アブDA農」を今年度は開発しました。

実際に農家で使用出来る装置の開発と維持管理は工業高校生として得るものが

多いことと思います。

このように、学校における学びを、実践的に応用する教育が評価され、文部科学省が編集協力し産業教育振興中央会が発行している「産業と教育」12月号に、実践事例として取り上げていただきました。この雑誌は、全国の農業・商業・水産・家庭・看護・福祉・総合学科に配布されるものです。全国に、本校教育の成果を紹介出来ましたことは大変喜ばしいことと感じております。

また、本校の工業教育をより一層発展させるべく、来年度より「デザイン教育」を実施することといたしました。

「デザイン教育」という言葉からは、芸術的な感性を育てる教育をイメージする方が多いと思いますが、それとは異なり、生徒の発想力や創造力、問題解決力を養うものです。

「Design solves a problem. Art is expression.」（デザインとは問題解決であり、アートとは自己表現である）この言葉に内容が端的に表現されています。本校で学んだ、知識や技能をどのように活用するかその方法論を学ばせたいと考えています。同窓生の方々におかれましても、豊

富な経験を基に本校の新しい教育に積極的に関わっていただければと思います。最後になりますが、平成28年には、郡山北工業高校として、創立40周年を迎え

ることとなります。同窓生の皆様におかれましては、母校発展のため、更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新会員のことは



科 子
野 晃
電 菅

今年度、郡山北工業高等学校を卒業する私たちは、北工同窓会へ入会させて頂きました。とても光栄で嬉しく思います。

私達の代は、東日本大震災を、一つ上の代の卒業式の後に経験し、不安と希望が入り交じった複雑な心の中、1年間を過ごし、郡山北工業高校への入学を決意しました。入学から現在に至るまで、多くの方々を支えられ、学校生活はとても充実したものになりました。勉学に励み、多くの資格を取得した生徒。部活動に打ち込み、数々の成績を残した生徒は大勢います。中でも、コンピュータ部の世界大会第1位となったプロロボは、より一層本校を全国に知れ渡らせたのではないかと思います。学校生活においても、校

内球技大会や、北嶺祭には、一人一人が参加し、全校生が一丸となり、大いに盛り上がる事ができました。

進路につきましても、冬季休業前の時点で、進路を就職と選択した生徒は全員が決まり、進学を選択した生徒も、大半が決まりました。これらも皆、同窓生の皆さんが築きあげられた伝統と、北工ブランドの恩恵があつてこそだと思います。また、地域の方々、

生徒一人一人に尽力してくださった先生方のお蔭であると思います。本当にありがとうございます。これからも、先輩の方々より受け継いだ伝統をさらに発展させ、次の世代の方々へ伝えていければと思います。

まだまだ至らぬ点の多い私達ではありますが、日々の努力を怠らず、同窓生としての自覚を持ち、皆様の期待と、次の世代への手助けが出来るよう、精進していきたいと思っております。これからも、ご支援、ご指導をよろしくお願い致します。

平成26年度 同窓会定期 総会報告

平成26年6月21日(土) 午後5時よりホテルハマツに於いて平成26年度郡山北工業高等学校定期総会が92名の参加を得て開催されました。定期総会の進行は遠藤仁一事務局(北工55機械)が行いました。

【開会の言葉】

熊田良治同窓会副会長(郡工40電気)の言葉で同窓会定期総会が開会しました。

【会長あいさつ】

古川弘同窓会長(郡工40建築)より、出席された皆さまに同窓会に対する協力への御礼がありました。

「私も会長として今回第3回目の総会ということになりました。一年の中で一番緊張する瞬間です。いまほど開会のあいさつにもありません。同窓会に参加をしていただいで懇親会で楽しく元気な顔を見るということが一番だと思います。

ご承知のとおり福島県は震災後変わらぬ大変な思いをしている訳ですけれども、懸命な努力をしていることは評価していただいても年数がかかると思います。我々本県の出身者といたしましては、その技術を遺憾無く發揮して、福島県が元の姿あるいはそれ以上になつていくことを皆さんと共にしつつか

り心に留めてやって参りたいと思います。そのためには、やはり同窓会の方々の協力を得るということが一番だと思っております。どうか今後ともよろしくお願い致します。そういうことで御挨拶に代えさせていただきます。本当にありがとうございます。」

【学校長あいさつ】

高城友治学校長より、同窓会定期総会に対してお祝いの言葉をいただきました。

「ただいま紹介に預かりました高城と申します。2年目になります。本日の同窓会総会の開催、誠にありがとうございます。同窓会の皆様には昨年度は色々とお世話になりました。各種全国大会や世界大会等における激励へのご援助や3年に一度の北嶺祭へのご協力やご協力など同窓会の方々のご支援がありまして学校の行事がつつがなく進むことができました。重ね重ねありがとうございます。昨年度北工は大変な活躍いたしました。手前味噌になりますが、おそらく福島県内で一番注目されて一番活躍したと感じております。そういう面におきまして本校におきましては郡山工業高校・郡山西工業高校と本流が二つございまして、昨年度の活躍等もありません。是非郡山北工業高校も身近に感じていただけたらと思っております。また平成28年に北工創立40周年が近づきますので、それを含めましてよろしくお願ひしたいと思ひます。」

【三支部代表あいさつ】

三支部を代表しまして日立支部の支部長 丸山正一様より、御挨拶を頂きました。

「支部長を代表しまして日立支部の丸山がご挨拶させていただきます。きょうは日立支部から3名参加させていただきます。本日は同窓会総会がこのような盛大に開催できること誠にありがとうございます。私は平成19年から支部長をやっております。一つ目は日立支部の基本的な同窓会活動は総会と懇親会を行っております。福島を離れ、それぞれの職場で仕事をしている方やOBの方が一堂に集まっておりますので、なかなか同じ年代が集まる機会がないので、私も日立支部で同年代の方がいないものから、学校生活での(同じ)思い出は具体的なことは言えないのですが、やっぱり北工、私にとっては郡工ですけれども、この学校で過ごした時間のことや話題になります。あとは私は矢祭町出身です。水郡線が汽車通だったのですが、そういう汽車通の思い出とか、そういう思い出が懇親会の話題となつて話していることが非常に良いのかなと思っております。

それから二つ目は、先日東京支部の総会がありました。活躍されている方やOBの方が参加されていまして、ふるさとを離れているのですが、みなさん口々に言うのは、やっぱり福島への思いです。たとえば「福島の物産展をやつていたら行ってきた」とかです。同窓生はそういう福島への思い入れが非常に強い人たちだと思っております。実は私も思い入れが強く、日立支部なので、今は福島に住んで矢祭町にもどりまして日立まで通っています。そのように卒業生はみんな福島への思い入れが強い人たちの集まりですので、同窓会をやるとそういう話に花が咲くということが二つ

目ですね。

そういう意味ではなかなか同窓会活動も新人が入って来ない、どの支部もそうなので、入ってこない状況で年代だけが入り込んでいくだけになってしまっているところもあるのですが、でも、これからの同窓会活動を続けて、支部の総会には本部からも来て頂いて、学校からも来て頂いているんな話をする機会をこれからも続けていきたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。本日は誠に開催おめでとうございます。」

【議長・副議長・書記任命】

事務局一任となり、事務局長 山卓也(北工1電気)より議長に 渋谷健夫氏(北工63機械)、副議長に 近内光晴(郡工49建築)氏、書記に 事務局小野一夫(昭54北化1)氏の提案があり承認されました。

【議事】

議事は総会資料に沿って①平成25年度庶務報告・船山事務局長 ②平成25年度決算報告・高橋由美事務局会計(北工63化工) 会計監査報告・柳沼幸代監査(郡工51建築) ③規約改正について・船山事務局 ④平成26年度事業計画案・船山事務局 ⑤平成26年度予算案・西尾秀和事務局(北工60電子) ⑥40周年記念事業について・船山事務局長 より説明が行われ、それぞれ拍手をもって承認されました。最後に船山事務局長より、協力の御礼とお願ひと、次年度の同窓会総会は平成27年6月27日にビューホテルアネックスで開催される案内がありました。

【閉会の言葉】

熊田晃大同窓会副会長(北工54

建築)のことはで同窓会定期総会を閉会しました。

【懇親会】

懇親会の進行は熊田良治同窓会副会長が行いました。伊勢野敏雄同窓会副会長の開会のことは、古川弘同窓会長より挨拶、高城友治学校長の挨拶、来賓を代表して父母と教師の会会長・星芳道様よりご祝辞を頂き、本部顧問の増子久治様より「郡山北工業高校の前身校である郡山工業学校は昭和19年戦争の真つ直中に郡山商業から郡山工業に変わりました。70年の伝統と歴史があることを忘れないでほしい」というあいさつのおと乾杯のご発声により懇親会が始まりました。

懇親会ではTVで取り上げられた映像の上映があり、コンピューター部や電気部など、それぞれの活動を活かした発明品や、復興の願いを込めた作品に取り組み姿などが流れました。

また、多数参加の中で行われたゴルフコンペの表彰式も行われ、参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。最後に熊田晃大同窓会副会長の言葉で懇親会はお開きになりました。



【第12回ゴルフコンペの結果】
優勝…根本光男 準優勝…柳沼 治

支部だより

東京支部



東京支部長
八代 英昭

平成27年の新しい年を迎え同窓会会員の皆様のご健勝ご活躍を、心よりお慶び申し上げます。また、新卒生をお迎えすることができませんことを心からお祝い申し上げます。新卒生の皆さんは進学に就職と、眼前の道を胸躍らせて歩み始めたことでしょう。皆さんの前途には晴れの日もあれば、曇りや雨の日もあります。時に、荒天の日もあるはずですが、そんな時は、行くべき道を見失うこともあるかもしれません。今の自分に迷うこともあるでしょう。かく言う私もそうでした。どうやって乗り越えてきたのか自分の経験談でお伝えできればいいのですが、当時は無我夢中であり、振り返ってお伝えするのが難しいので、先日読んで本の一節を引用させていただきます。

「天職」について、このようなことを書いています。「適職、天職のことを英語では calling とか vocation と言います。どちらも「呼ばれること」という意味です。仕事というのには「呼ばれる」ところから始まる」「キャリアのドアにはノブがついていない。このドアは「向こう側」からしか開かない。ドアが開いたら、そこが「入るべき入口」だったと考えるべきだ」ここでいう「職」や「キャリア」は、仕事だけでなく、人生における様々な選択肢のことだと思えます。皆さんの頑張りや適正によって「こちらにおいて」と必然的に引き寄せられる扉がある。だからこそ、どんなときも自分を信じて精進するしかないのだと思うのです。少々説教くさくて心苦しいですが、これを卒業生の皆さんへの贈る言葉とさせていただきます。

さて、東京支部の状況ですが、名称は東京支部ではありませんが地域は東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県のエリアに会員がおりまして、会員名簿で把握しております。会員は約1250名です。実際の卒業生は相当数居ると思われませんが、住所が把握出来ない現状があります。東京支部での活

動は二年に一度の支部総会の開催場所は上野公園内にあります。精養軒にて開催としており、卒業生の皆様は同窓会本部のホームページでご覧いただき、ぜひご参加いただけます。すようお待ち申し上げます。



平成26年度 北工同窓会東京支部総会

日立支部



日立支部長
丸山 正一

平成27年の新しい年を迎え同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。日立製作所及び日立関連会社の現役所員及びOBの方々に構成されている日立支部は、現在、会員数86名(内

OBの方39名)で同窓会活動を展開しております。会員数については、大幅な変更はありませんが、ここ数年間の間に新人の方が日立地区に来ていただいていることもあり、現役の方々OBの方々の人数を上回ってきており、確実に世代交代が進んできた支部となっております。一方、現役の方々には、職場の中核で活躍され、多忙な日々を送られております。特に日立製作所とその関連会社は、平成27年は、ものづくりの原点に立ち返り新たな成長への年と位置づけられており、昨年平成26年は、その為の組織変革も活発に進められ、変革し成長する組織の中で仕事を進めて行くという厳しい状況が続いた一年だったと思えます。そのような会員同士のコミュニケーションを深める目的で同窓会活動を進めてきました。以下に平成26年度の活動状況の一端を報告させていただきます。

①日立支部総会の開催

今年度は11月15日(土)日立市のホテル天地閣にて実施致しました。当日は高城校長先生をはじめ、同窓会本部から古川同窓会本部会長、伊勢野同窓会本部副会長、東京支部から八代支部長、水戸支部から浅野支部長他、多数のご来賓の方々に参加いただき開催いたしました。総会後に開催

した懇親会では、来賓の方々によるご挨拶及び母校の状況報告、各支部の状況についてもご紹介いただきました。特に今回は、平成25年度卒の新人1名や、その先輩にあたる平成23年度卒、平成24年度卒の方々にも参加してもらい、文字通り若手とOBの方との同窓会による交流の場となりました。参加者全員が、懇親会、その後の二次会と、昔に戻ったような時間を過ごすことが出来、同窓会の良さを改めて感じた機会となりました。

②本部総会、他支部総会への参加

6月21日(土)に郡山市ホテルハマツで開催された本部同窓会の総会にも日立支部からも3名で参加しました。活発な本部の活動紹介や、本校生徒の活動のビデオによる紹介のアトラクションもあり、盛んな本部総会で、日立支部としても刺激を受ける内容でいつもながら楽しいひと時を過ごさせていただきました。また、6月7日(土)に東京上野の精養軒で開催された東京支部総会懇親会にも参加させていただきました。東京支部の総会懇親会では、参加者一人一人が、現況を報告され、高校を卒業した後の、一人一人の思い、生



平成26年度 北工同窓会日立支部総会

き方が感じられ、感銘を受ける場面もありました。ここでも、同窓会の良さを感

以上、平成26年度の活動状況について紹介させていただきましたが、日立支部としましては、さらに、世代交代を進めながらも、会員同士の情報交換、母校及び同窓会本部とのパイプ役など、支部としての役割を、なお一層意義あるものにしていきたいと考えております。最後になりましたが、母校と同窓会の益々のご発展とご繁栄を、そして関係する皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

水戸支部



水戸支部長 浅野 利光

新春を迎え同窓会会員の皆様方のますますのご健勝を心よりお喜び申し上げます。

昨年、年末に行われた国勢選挙により、アベノミクスによる政策が信任され、自民党政権が圧倒的な支持を得ました。

しかし年末には円安株高により大企業等に利益供用はあ

るものの一般庶民には景気高揚の実感がなく消費増税による消費が冷え込み、実質物価は低迷するなど、アベノミクスの政策について見直しを迫られる状況となりました。

新政権には改めて景気回復や成長戦略をはじめ社会保障制度などの財政確保や外交問題のほか、若者と女性

いかに出生率の低下を食い止めるかが課題となりました。また国家戦略として地方創生のための政策が重要課題となりました。

この地方創生については各地方が独自の特色を生かした工夫を自治体と共にアイデアを出し、いかに地域の若者たちが地域での産業に従事し、女性が安心して子育てのできる環境を創出することにあると思われま

それには地域に根差す社会的企業としての役割が重要になると思います。社会的企業は、地域づくりや福祉環境など社会的課題の解決を目指す社会性と、収益を上げる活動を継続させるための事業性を備えた事業者やNPOなどの出現が必要となるのではないのでしょうか。

更に地域に育つ若者たちが社会的企業へ関心を持つことが重要であり、それまで成長し知らない20〜30歳の世代達は、いま働く組織の中で頑張ることが何に繋がっているのか、また社会とどう関係しているのかの実感が持てないなどの若者が大勢いる状況のようにあるといわれています。

いまの組織を離れ、地域のために地域に入って公共的な仕事にかかわり、新しい生き方を獲得したいと感ずる若者が増えていることも事実です。

地方創生は、このように社会的企業と地域の若者を結びつけるための事業性を創出する、活力のある魅力的な地方を創り出すことではないでしょうか。

郡山北工を巣立った同窓生が郷里の郡山や福島の地域の発展に大いに貢献することを願っています。

最後に同窓会本部および各支部の皆様には今後とも水戸支部のご支援ご協力を賜りますようお願いいたしますと共に、皆様の今後のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

Advertisement for (有)古川弘 建築設計室. Includes contact info: 〒963-8831 福島県郡山市七ッ池町18-8, TEL (024) 925-5800, FAX (024) 925-5840.



Advertisement for Hotel Hamatsu Koriyama. Includes contact info: 〒963-8578 福島県郡山市虎丸町3番18号, TEL 024(935)1111, http://www.hotel-hamatsu.co.jp

Advertisement for 株式会社 郡山電機製作所. Includes contact info: 郡山市富久山町久保田字本木54, TEL (024) 932-2686, FAX (024) 932-7743

Advertisement for 田村通信防災工業株式会社. Includes contact info: 郡山市安積町荒井字下北井前4-1, (024) 945-2882, FAX (024) 946-2875, E-mail: tamura-t01@isis.ocn.ne.jp

特集 「飛躍！北の駿馬たち 2014」

「世界への挑戦」〜ふくしまの誇りを胸に〜

情報技術科教諭 深澤 剛

平成26年7月に宮城県仙台市で開催された第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテストにコンピュータ部の鈴木智弥、伊藤謙志郎（機械科3年）、上田勇一朗（情報技術科3年）、渡邊和樹（情報技術科2年）、渡邊友海（情報技術科1年）の5名が国内予選1位（3年連続）で日本代表として出場し、世界10ヶ国23チームの主眼に大学院生や大学生が出場する中、高校生チームとして世界初となる「First Prize（1位）」を受賞することができました。生徒達は、震災経験を生かし、防災・減災に役立つ多機能型セキュリティロボット「Pro ROBO」を開発し、福島の高専生や高校生の技術力で世界へ挑戦しました。東日本大震災後ロボットは様々なメディアで取りあげられましたが、生徒達は具体的な災害に対する被害を小さくできるのかを最大の目標とし、開発を試みました。そこで災害時に重要な「情報」に焦点を絞り、迅速に情報を周囲に知らせるためのロボット「Pro ROBO」を完成させました。

また、「Pro ROBO」は2015年1月6日〜9日にアメリカラスベガスで開催された、世界最大規模の国際家電見本市CES（Consumer Electronics Show）に出展しました。過去の国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテストの入賞チームをCESで紹介し、マーケティングを拡大しようという試みで、今回から「ICAN CES Show 2015」と題して、展示ブースを設け、世界各国の企業の方に

ICAN CES Show 2015 (Venetian Hotel in Las Vegas)



国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト(展示風景)



表彰式(東北大学:萩ホール)

紹介し、技術的アドバイスや市場価値などを得る目的で開催されました。出場チームには、「International Youth Innovation Medal」が贈られました。「Pro ROBO」も多くの企業の方から高評価を得ることができ、実用化に向けて取り組んでほしいなどの期待もあり、大きな自信と誇りを胸に帰国しました。

東日本大震災後、復興に向けて様々な取り組みがされていますが、工業高校である本校もふるさと福島復興のために積極的に活動していきたいと考えています。

「電気部の活動について」

電気部顧問 船山 卓也

電気部は電気科所属の部活動ですが、現在は一身の回りで役立つ面白いものを創ろうを合言葉に、アイデア作品の製作を中心に活動しております。

一昨年よりJA主催の「全国高校生みんなD E笑顔プロジェクト」にも参加し、活動状況をブログで公開も進めています。昨年はTV等でも取り上げられた赤ベコデザイン「グラス・カッター 酪D A農」はこの活動から生まれた作品です、みんなD E笑顔プロジェクトでは、全国決勝大会まで進み、作品を通して福島県酪農家の放射能への取り組みなども伝えることができました。また、アイデア作品として

電気部に限らず、文化系の部活動でも作品作りにおいてはチームを組み、様々なアイデアからディスカッションし、企画・製作を通して、個々の得意分野において分担し責任をもって取り組むこの様な活動を通して、校訓の「調和・創造・特色」を体験できるのが北工の文化系部活動だと考えております。

最後に今年より同窓会から激励金を頂きまして、予算が少ない部活動としては大変助かっております。この場をお借りして御礼申し上げます。

「ジャパンマイコンカーラリー2015 全国大会に参加して」

電子科 菅野 昭夫

平成27年1月11日から札幌市で開催された第20回ジャパンマイコンカーラリー2015全国大会に電子部の楠健吾、要田良（電子科3年）が福島県大会で優勝し県代表として出場しました。

マイコンカーラリーとは写真のような約65mのコースを自走しタイムの速さを競う競技です。CPUはルネサス製・モーターはマブチ電池は単三電池でCPUとモーター駆動にそれぞれ4本の合計8本とレギュレーションが決まっています。プログラミング制御と車体製作の両方の技術が求められます。

本校では過去に全国大会に出場したことはなく初出場となります。大会では残念ながら完走することができず予選敗退となりましたが、全国大会に参加した兩名は、全国の高校生のレベルを身近で感じる事ができ更なる向上心が芽生えたようです。

今回の全国大会出場に際しては同窓会の皆様からご支援を頂き本場にお借りして御礼申し上げます。来年度もぜひ全国大会に出場できるように指導していきたいと思っております。



生徒会活動より

平成26年度 生徒会活動状況

生徒会顧問 鈴木 和馬

今年度は、特に大きな行事もなく穏やかな一年になるかと思われたが、そこはさすがに『北工生』今年度もなかなか面白い一年だった。

まず、一学期に行われた「球技大会」は、初日いきなり、このところ多くなったゲリラ豪雨？により、予定通りの日程で進めることができなかったが、昨年度の反省を生かした見事な運営で無事全日程を消化することができた。

次に、夏休みに行われた中学生一日体験において、例年通り生徒会で学校紹介を担当したが、今年度のメンバーは原稿を読むのではなく、寸劇のような紹介にチャレンジしてくれた。今後北工のことをよく知ってもらい、優秀な人材に「北工」に入学したい」と思ってもらえるような紹介を目指してほしいと思う。そして、生徒会最大の波乱は、生徒会役員改選ではなかったかと思う。現生徒会役員より会長に2名の立候補、さらには新人候補1名の計3名という、ここ数年なかった会長選挙。結果は、新人候補の圧勝で彼女が現会長となるわけだが、非常にパワフルに新生北工生徒会執行部を取

りまとめてくれていた。それに加えて、落選してしまった2名もそれぞれの立場でお手伝いをしてくれている。今後の取り組みに大いに期待しているところである。

最後に部活動や学習発表の面では、今年度もさらなる躍進を遂げている。筆頭としては、コンピュータ部が「国際ナノマイクロアプリーケーションコンテスト」で昨年に引き続き世界大会に出場し、世界第1位に輝いた。今回は、災害救助ロボットというところで昨年度のロボットをより実用的に進化させた内容でこちらもこれからの進化に期待するところである。そのほかにも多くの部活動が様々な場面で活躍し、評価を受け北工の名を大きく轟かせてくれた。これらの活躍を下記の一覧にまとめましたので、ぜひご覧ください。



本格派中国料理 龍宮城
代表取締役社長 橋本 正喜
(昭和42年度機械科卒)

安積店 / 〒963-0107 郡山市安積4丁目38
TEL(024)946-3171 FAX(024)946-3107
西ノ内店 / 〒963-8022 郡山市西ノ内1-13-9
TEL(024)939-4649 FAX(024)939-4655
http://www.ryugujyo.jp
E-mail info@ryugujyo.jp

●送迎バスもありますのでご相談下さい。

平成26年度 大会成績報告

世界大会

- ・コンピュータ部
第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト世界大会
..... First Prize (1位)

全国大会

- ・コンピュータ部
第5回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト国内大会..... 第1位
第22回全国高等学校ロボット競技大会「北風」..... 出場
パソコン甲子園 プログラミング部門 出場
- ・スピードスケート部
全国高等学校総合体育大会 スピードスケート競技選手権大会 出場
- ・電気部
全国高校生みんなDE笑顔プロジェクト全国大会「フライハンター-虹DA農」... 優良賞
第12回全国高校生技術アイデアコンテスト... 佳作 指詰め禁止! 紙の裁き 根本 翔
..... 佳作 避難所用USBイカ足×2充電器 北條将成
- ・電子部
ジャパンマイコンカーラー(JMCR)2015大会 BASIC部門 出場
- ・建築科
第5回建築甲子園 奨励賞 津田祥吾、後藤桃華、小野聖真
- ・機械科
第6回日本工業大学3D-CADプロダクトデザインコンテスト
..... 佳作 機械科3年 國分雄大
全国選抜高校生溶接コンクール 出場

東北大会

- ・吹奏楽部
全日本マーチングコンテスト東北大会 金賞
- ・ソフトボール部
第9回東北高等学校ソフトボール選抜大会 第2位
第41回東北総合体育大会ソフトボール競技少年男子の部 第3位
- ・サッカー部
第1回全日本ユース(U-18)フットサル大会東北大会 予選リーグ敗退
- ・電気部
全国高校生みんなDE笑顔プロジェクト東日本大会「フライハンター-虹DA農」... 準優勝
- ・機械部
全日本ロボット相撲東北大会全日本の部 3回戦敗退
- ・化学工学科
ものづくりコンテスト2014東北大会 化学分析部門 出場 化学工学科2年 渡邊菜奈
- ・個人
第26回東北高等学校ボクシング新人大会 1位 バンダム級 篠崎駿也

県大会ベスト3

- ・サッカー部
第1回全日本ユース(U-18)フットサル大会福島県大会 優勝

ソフトボール部

- 第60回福島県高等学校体育大会ソフトボール競技 第3位
- 福島県高等学校新人体育大会ソフトボール競技 準優勝
- 第36回福島県高等学校男子春季選抜ソフトボール大会 第3位
- 第67回福島県総合体育大会ソフトボール競技少年男子の部 優勝

ラグビー部

- 第60回福島県高等学校体育大会ラグビーフットボール競技 第3位
- 第67回福島県総合体育大会ラグビーフットボール競技少年の部 第3位
- 福島県高等学校新人体育大会ラグビーフットボール競技 第3位

電子部

- 福島県コンピュータアイデアコンテスト MCR-BASIC部門 優勝

電気部

- 福島県コンピュータアイデアコンテスト コンピュータ利用技術部門
..... 優秀賞 フライハンター-虹DA農
- 第60回福島県発明展 南相馬市長賞 上窓の鍵を開けてクレセント用金具
- 第60回福島県発明展 福島県発明協会賞 災害避難所用USBイカ足充電器

吹奏楽部

- 第27回全日本マーチングコンテスト 金賞

化学工学科

- 福島県ものづくりコンテスト2014 化学分析部門 ... 第1位 化学工学科1年 池上友希乃

機械科

- 福島県ものづくりコンテスト2014 旋盤作業部門 ... 第3位 機械科2年 渡辺弘明
- 第3回福島県高等学校溶接技術競技大会 最優秀賞 機械科2年 矢吹裕貴

電子科

- 福島県ものづくりコンテスト2014 電子回路組立部門
..... 第3位 電子科2年 佐藤彪介

地区大会優勝・準優勝

バドミントン部

- 第60回福島県高等学校体育大会バドミントン競技県中地区大会男子学校対抗
..... 準優勝
- 福島県高等学校新人体育大会バドミントン競技県中地区大会男子学校対抗
..... 準優勝

ラグビー部

- 第60回福島県高等学校体育大会ラグビーフットボール競技県南地区大会 優勝
- 第67回福島県総合体育大会ラグビーフットボール競技少年の部県南地区大会 優勝
- 福島県高等学校新人体育大会ラグビーフットボール競技県南地区大会 優勝

ソフトボール部

- 第60回福島県高等学校体育大会ソフトボール競技県南地区大会 優勝

ソフトテニス部

- 福島県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技県中地区大会男子個人
..... 準優勝 機械科2年 鈴木大生、電気科2年 伊藤優輔

電気部

- 第66回郡山市発明工夫展 郡山市長賞 災害避難所用USBイカ足充電器

卒業生の

進路状況

進路指導主事 遠藤 仁一

本校の同窓生は、今年度の卒業生が加入すると約2万4400人になります。多くの生徒が本校で高校生活を過ごし、県内・県外への事業所や大学・専門学校等に進んで来ました。2年後の平成28年度には、創立40周年を迎えます。また、今年度も部活動等ですばらしい実績をあげ、今後益々の活躍が期待される所です。就職内定率は毎年100%を達成しています。この背景には、大勢の卒業生の力も大きく影響していると思われま。在校生は先輩の偉大さを感じながら、本校を卒業していきます。在校生の活躍は卒業生の喜びであり、卒業生の活躍は在校生の誇りです。いつまでも同窓生としての視点は故郷にあり、一喜一憂していくものではないでしょうか。

26年度の卒業生の進路は、図1のような傾向です。全体の62%の170人が就職内定者で、36%の100人が進学合格者です。就職と進学の割合はほぼ例年通りです。就職では、昨年と比較して求人票が増加し、企業の選択に幅がもてたことです。特に建設業・製造業・卸小売業・サービス業の増加が目立ちました。東日本大震災等の復興や東京オリンピックに向けての整備・準備のためと考えられます。本校生の産業別就職状況は図2になります。製造業・建設業・情報通信業など工業系に関する仕事を選択していることが特徴で、自分が学んだ専門性をいかした職業に就いています。

進学では、4年制大・短大と専門学校等の割合はほぼ同数でその中でも、国公立大へは7名が合格しました。学科毎の進学先は図3にあるように、地元の大・短大は理系が多くを占め、専門学校では工業系以外が全体の半数を上回っています。同窓生の皆さまには、後輩となる本校生と接する機会がありましたら、ご指導等宜しくお願ひいたします。北工生のこれらの活躍にご期待下さい。

プロパンガス・灯油販売・水道工事・下水道工事
フレンドホーム 正しい家づくり 電気配線WBI法
冷暖房設備工事・新築・リフォーム

SHIN SAN 株式会社 新産
代表取締役 二瓶 剛一
〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字石堂4
TEL(024)922-4815 FAX(024)934-1430
ホームページ 新産 郡山 検索
E-mail shinsanfriend@y4.dion.ne.jp



図3 学科進学先

学科	進学先	人数
機械科	日本大学	7
	愛知工業大学	1
	福島学院大学短期大学部	1
	北海道科学大学	1
	テクノアカデミー郡山	1
	テクノアカデミー浜	2
	ケイセンビジネス公務員カレッジ	2
	国際アート&デザイン専門学校	1
	郡山ヘアメイクカレッジ	2
	福島医療専門学校	2
	太田看護専門学校	1
	国際情報工科大学校	3
	日本調理技術専門学校	1
	東北文化学園専門学校	1
電気科	仙台リゾート&スポーツ専門学校	1
	仙台医健専門学校	1
	専門学校東京ビジュアルアーツ	1
	千葉工業大学	1
	ケイセンビジネス公務員カレッジ	1
	エコール辻東京	1
	トヨタ東京自動車大学校	1
	東京医療専門学校	1
	菅原学園専門学校デジタルアーツ仙台	1
	東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校	1
電子科	宇都宮日建工科大学校	1
	新潟大学	1
	日本大学	3
	神奈川工科大学	1
	東北学院大学	1
	国際ビューティファッション専門学校	1
	国際情報工科大学校	1
	東京ゲームデザイナー学院	1
	仙台総合ペット専門学校	1
	東北電子専門学校	1
仙台医療秘書福祉専門学校	1	
日本工学院専門学校	1	

学科	進学先	人数
情報技術科	会津大学	5
	日本大学	6
	東京電機大学	1
	郡山女子大学短期大学部	1
	国際アート&デザイン専門学校	2
	テクノアカデミー郡山	1
	ケイセンビジネス公務員カレッジ	1
建築科	日本自動車大学校	1
	HAL東京専門学校	1
	日本大学	11
	東北工業大学	1
	仙台大学	1
	城西大学	1
	郡山女子大学短期大学部	1
化学工学科	ケイセンビジネス公務員カレッジ	1
	郡山ヘアメイクカレッジ	1
	神田外語学院	1
	宇都宮日建工科大学校	1
	山形大学	1
	日本大学	1
	京都文教大学	1
	テクノアカデミー郡山	2
	テクノアカデミー浜	1
	国際ビューティファッション専門学校	1
福島医療専門学校	1	
国際アート&デザイン専門学校	2	
国際情報ビジネス公務員専門学校	1	
札幌科学技術専門学校	1	

図1 進路状況

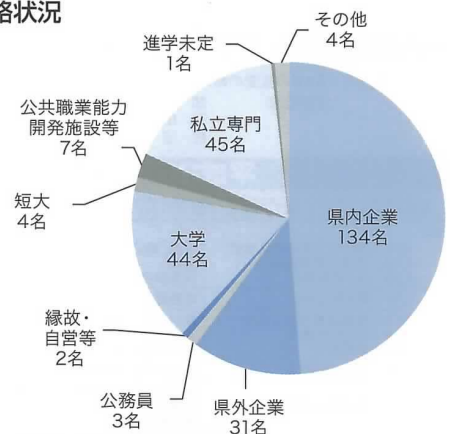
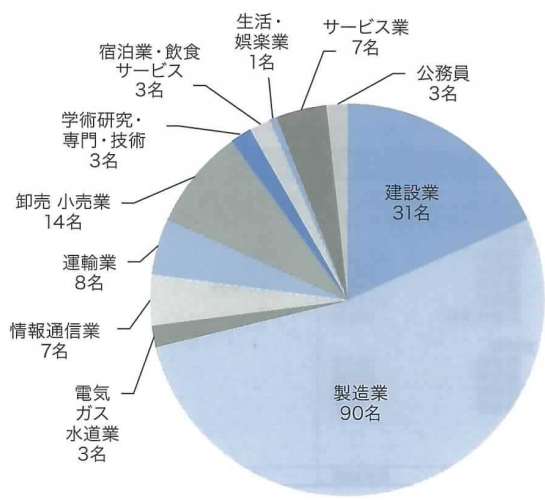


図2 産業別就職者数



平成25年度 決算報告

1 収入総額 4,657,815円 2 支出総額 4,130,636円 3 差引残高 527,179円

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	増減額	備考
繰越金	252,698	252,698	0	平成24年度からの繰越金
入会金	1,680,000	1,692,000	12,000	282人(新入生280人、転入生2人)×¥6000
会費	1,722,000	1,716,000	△6,000	卒業生286人×¥6000
会誌広告料	220,000	239,895	19,895	12社
一般寄付	500,000	757,028	257,028	
雑収入	302	194	△108	預金利息
合計	4,375,000	4,657,815	282,815	

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	残額	備考
基本金	340,200	340,800	△600	入会金・会費総額の1割
会議費	370,000	278,140	91,860	三役会 幹事会
事務費	40,000	31,186	8,814	事務用品等
慶弔費	70,000	68,792	1,208	香典等
通信費	1,450,000	1,449,455	545	会報(64号) 発送費等
旅費	280,000	233,375	46,625	本部 東京 日立 水戸
会誌編集費	680,000	668,640	11,360	会報(64号) 印刷
渉外費	86,000	67,575	18,425	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	250,000	248,562	1,438	卒業記念品 同窓会長賞
事務局費	60,000	26,236	33,764	事務局会議費
北嶺祭	50,000	50,000	0	学校祭補助
支部助成金	160,000	160,000	0	東京・日立・水戸
学校案内助成	30,000	27,720	2,280	学校案内印刷助成
総会費	440,000	418,105	21,895	総会補助
予備費	68,800	62,050	6,750	会長賞補助・学校案内追加補助
合計	4,375,000	4,130,636	244,364	

3. 差引残額 ¥527,179 は次年度へ繰り越します。

平成25年度 基本金報告

定期預金(～平成24年度)	6,713,954 円	定期預金
平成25年度基本金	340,800 円	定期預金
合計	7,054,754 円	

平成25年度 会計監査報告

平成26年4月4日の監査の結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

会計監査 加藤 和夫
石田 秀夫
柳 沼 幸代

平成25年度 会務報告

年月	行 事 名	内 容 等	会 場	
H25	4.9	郡山北工業高校入学式	学校	
	4.19	郡山北工職員歓迎会	郡山ビューホテル	
	4.26	第1回幹事会	ホテルハマツ	
	5.31	第1回三役会	旬膳(くしぜん)	
	6.6	県産振興中支会総会	郡山北工	
	6.14	第2回幹事会	龍宮城西ノ内店	
	6.29	定期総会	郡山ビューホテル	
	7.6	日立支部総会	ホテル天地閣	
	9.2	第2回三役会	定期総会決算報告および反省 今後の活動について 北嶺祭について	寧々家
	10.11	第3回幹事会	定期総会決算報告および反省 今後の活動について 北嶺祭について	龍宮城西ノ内店
11.9	水戸支部総会	会長、副会長、校長、事務局次長出席	クリスタルパレス	
11.22	第4回幹事会	今後の活動および同窓会報第64号について	ホテルハマツ	
H26	2.26	同窓会報第64号発行	18,000部印刷	学校
	2.28	同窓会入会式	会長、副会長、顧問出席	
	3.1	平成25年度卒業式	会長、副会長、顧問出席	学校
	3.28	郡山北工退職転出送別会 下旬	会長、副会長出席 17,500部発送	郡山ビューホテル ヨシダコーポレーション
4.4	会計監査	平成25年度会計監査		龍宮城西ノ内店

平成25年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年4月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成25年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 3,811名 電気科 2,520名 電子科 1,468名 情報技術科 1,391名 建築科 1,459名 化学工学科 2,498名
定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名		募集停止 環境システム科 501名 工業化学科 83名 定時制※H14閉課程 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小 計 6,635名	小 計 3,172名	小 計 14,321名
合 計 24,128名		

職員異動報告 (平成26年度)

転入者

No.	氏 名	教 科 等	前 任 校
1	富 櫻 実	教 頭	白河実業
2	船 島 清 治	数 学	白河旭
3	丹 治 良 徳	理 科 (物 理)	安 積
4	大 波 慶 次	工 業 (機 械)	喜多方桐桜
5	佐 藤 光 三	工 業 (情 報)	清陵情報
6	小 野 一 夫	工 業 (化 工)	あぶくま養護
7	木 俣 史 章	工 業 (機 械)	新採用
8	菅 野 市 代	理 学 科	安 達
9	菅 野 昭 夫	工 業 (電 子)	白河実業
10	渡 邊 誠 一	工 業 (情 報)	清陵情報
11	山 田 将 史	保 健 体 育	白河二高
12	菊 地 巧	工 業 (電 気)	民間企業
13	渡 邊 隼 人	工 業 (電 気)	本宮一中
14	武 藤 次 雄	工 業 (建 築)	福島工業
15	大 橋 千 香	養 護	酒田光陵
16	佐 藤 幸 彦	工 業 (機 械)	川俣
17	阿 保 雄 大	事 務	新採用
18	深 澤 知 華	司 書	

転退職者

No.	氏 名	教 科 等	転 出 先
1	松 本 代 志 博	理 科 (物 理)	定年退職 白川旭
2	小 泉 浩	工 業 (情 報)	定年退職 清陵情報
3	高 荒 昭 夫	工 業 (建 築)	定年退職 郡山北工業
4	佐 藤 恒 夫	工 業 (情 報)	退職 福島工業
5	小 泉 龍	数 学	退職 田村・萌生
6	内 藤 徹 二	工 業 (機 械)	退職 千葉県立下総
7	寿 明 勝	工 業 (電 気)	退職 岩瀬農業
8	府 中 志 乃	工 業 (電 子)	退職 白河実業
9	佐 藤 浩 正	教 頭	転出 喜多方桐桜
10	池 田 光 治	工 業 (化 工)	転出 教育庁
11	今 井 康 貴	保 健 体 育	転出 勿来
12	我 妻 和 夫	工 業 (機 械)	転出 福島工業
13	笹 島 貞 夫	工 業 (電 気)	転出 白河実業
14	根 本 敏 江	養 護	転出 岩瀬農業
15	平 岩 のり子	理 学 科	転出 福島西
16	本 田 文 一	工 業 (情 報)	転出 清陵情報
17	佐 藤 洋 子	事 務	転出 県中農林(事)
18	星 峰 子	司 書	転出 あさか開成

平成25年度 新会員報告

学 科	人 数
機 械 科	85名
電 気 科	41名
電 子 科	42名
情 報 技 術 科	41名
建 築 科	36名
化 学 工 学 科	41名
合 計	286名



株式会社 オオバ工務店

代表取締役社長 大場 俊之

国土交通大臣許可(特-21)第9138号
本 社 / 福島県郡山市富田町字権現林3番地の4
営業所 / 東京・白河
TEL.024-961-6500 FAX.024-961-6501
http://www.oba21.com

サイン工事全般 計画から施行・メンテナンスまで



http://www.c-daiwa.co.jp

株式会社 クリエイティブダイワ
福島県郡山市田村町金屋字下川原6番地 〒963-0725
TEL(024)944-0088(代) FAX(024)944-0086

平成26年度 同窓会役員名簿

氏名	勤務先名	卒業年科
1 顧問 問 渡 辺 達 英 昭24郡機		
2 顧問 問 増 子 久 治 昭42郡定電		
3 顧問 問 滝 田 孝 太 郎 昭42西電B		
4 会長 古 川 弘 昭40郡建		
5 副会長 熊 田 良 治 昭40郡電		
6 副会長 伊 勢 野 敏 雄 昭43西電B		
7 副会長 熊 田 晃 大 昭54北建		
8 監事 加 藤 和 大 昭26郡機A		
9 監事 石 田 秀 夫 昭39郡定機		
10 監事 柳 沼 幸 代 昭51郡建		
11 幹事 神 山 紀 昭58北建		
12 幹事 渡 邊 俊 彦 昭40郡定機		
13 幹事 渡 邊 隆 夫 昭43西化A		
14 幹事 柳 沼 隆 夫 昭45西機A		
15 幹事 佐 久 保 一 昭46郡建		
16 幹事 今 井 敏 昭46西機B		
17 幹事 宗 像 久 恭 一 昭48郡建		
18 幹事 中 村 弘 昭49西電B		
19 幹事 柳 沼 信 一 昭49西電B		
20 幹事 竹 中 内 之 昭50郡定電		
21 幹事 大 大 原 菊 英 昭51郡定電		
22 幹事 大 大 原 英 雄 昭53北化1		
23 幹事 今 泉 英 恵 昭54北電1		
24 幹事 大 田 母 神 吉 昭54北建		
25 幹事 影 山 春 男 昭56北電1		
26 幹事 浦 井 照 夫 昭59北機2		
27 幹事 國 道 美 行 昭59北機2		
28 幹事 洪 谷 健 夫 昭62北機3		
29 幹事 高 泉 健 太 郎 平01北建		
30 幹事 今 高 村 幸 恵 平06北建		
31 幹事 千 葉 祐 子 平06北建		
32 幹事 小 林 吉 行 平06北建		
33 幹事 小 林 剛 平07北建		
34 幹事 橋 吉 成 直 樹 平09北機2		
35 幹事 三 高 本 透 平20北建		
36 幹事 三 高 秀 男 昭53北電3		
37 幹事 橋 宗 孝 行 昭50郡機B		
38 幹事 橋 宗 像 文 雄 昭50郡電		
39 幹事 青 木 博 泰 昭52北機3		
40 幹事 平 栗 俊 昭 昭52北工化		
41 幹事 本 田 昇 意 昭54北機2		
42 幹事 三 岩 崎 洋 一 昭61北建		
43 幹事 本 木 覚 昭62北機1		
44 幹事 郡 司 昌 幸 平11北電1		
45 幹事 久 納 健 一 昭62北機3		
46 幹事 岡 谷 洋 誠 昭62北機3		
47 幹事 石 塚 弘 樹 平01北電1		
48 サッカー部幹事 佐 藤 伸 宣 昭61北化1		
49 ソフトテニス部幹事 高 橋 雅 平18北機1		
50 ソフトボール部幹事 柳 沼 一 成 平07北電子		
51 バレー部幹事 渡 辺 征 明 昭55北情報		
52 野 球 部 幹 事 佐 藤 輝 男 昭54北建		

※年度代表幹事、各支部役員はWEB上で御覧下さい。

事務局

氏名	勤務先名	卒業年科
1 事務局 長 舩 山 卓 也 平01北電1		
2 事務局 次 長 矢 部 重 光 昭48郡電子		
3 事務局 次 長 佐 藤 光 三 昭59北電子		
4 事務局 会 計 西 尾 秀 和 昭60北電子		
5 事務局 員 渡 辺 正 一 昭49郡工化		
6 事務局 員 阿 部 昇 二 昭51郡電子		
7 事務局 員 佐 野 木 郁 雄 昭50西機A		
8 事務局 員 小 野 一 夫 昭54北化1		
9 事務局 員 遠 藤 仁 昭55北機1		
10 事務局 員 深 澤 剛 昭60北電子		
11 事務局 員 高 橋 由 美 昭63北化1		
12 事務局 員 菊 地 巧 平13北化2		
13 事務局 員 八 木 田 裕 一 平17北情報		

平成26年度 ご協力者芳名簿

ご協力ありがとうございました

敬称略 受付順

氏名	卒年度科	所在地	氏名	卒年度科	所在地
柏原 信夫 昭39郡電 千葉県	永野 文雄 昭38郡建 白河市				
松尾 光章 昭44郡機A 郡山市	高山 光正 昭42西機B 郡山市				
円谷 弘 昭46郡電 埼玉県	折笠 和 昭44郡工化 千葉県				
宮田 健児 旧職員(北) 福島市	畑 吉春 昭29郡機 東京都				
大野 鎮夫 昭33郡機A 神奈川県	加藤 平吉 昭38郡電 茨城県				
渡辺 正春 昭48郡建 千葉県	水野 信彦 昭25郡機 愛媛県				
坂本 守 昭35郡機B 郡山市	井上 安邦 昭40郡建 神奈川県				
村田 正作 旧職員(北) 郡山市	岡部 正勝 昭37郡建 茨城県				
鈴木 真史 平24北機2 郡山市	小池 芳光 昭27郡機 神奈川県				
大河原 文夫 昭52北電2 郡山市	猪狩 次夫 旧職員(北) 福島市				
田中 実 昭31郡建 埼玉県	小川 博芳 昭48西電A 神奈川県				
根本 源太郎 旧職員(北) 石川郡	田中 良夫 昭41郡機B 栃木県				
渡辺 孝雄 昭37郡機B 郡山市	山崎 功 昭29郡機 茨城県				
遠藤 秀泰 旧職員(郡) 新潟県	橋本 勝幸 昭42郡定機 茨城県				
今泉 義明 旧職員(郡) 郡山市	高田 五郎 昭43西機A 郡山市				
馬場 彦吉 旧職員(郡) 郡山市	佐藤 和男 昭39郡建 郡山市				
山口 隆男 昭46郡電 千葉県	国分 金也 昭49西機A 須賀川市				
西勝 文夫 旧職員(北) 郡山市	渡辺 千尋 昭43西化A 郡山市				
吉田 太一 昭51郡電子 田村市	渡邊 郁恵 平11北建 郡山市				
伊藤 孝雄 昭31郡機B 郡山市	渡邊 しのぶ 平15北建 郡山市				
北原 正三 旧職員(北) 福島市	先崎 嘉克 平03北電1 白河市				
伊藤 宗昭 昭37郡建 宮城県	佐久間 島江 昭41郡機B 郡山市				
上石 一守 昭32郡建 神奈川県	清井 清治 旧職員(北) 郡山市				
壁谷 宗春 昭27郡機 茨城県	柳沼 喜七 昭40郡建 神奈川県				
植木 薫 昭43郡電 郡山市	渡辺 征明 昭55北情報 郡山市				
川名 浩 昭44郡工化 郡山市	浅野 利光 昭37郡建 茨城県				
成田 進一 平03北定工 郡山市	田母神 三知夫 昭43郡機A 郡山市				
小林 広規 旧職員(郡) 郡山市	熊田 良治 昭40郡電 郡山市				
小池 勝衛 昭34郡機B 神奈川県	橋本 洋治 昭36郡電子 茨城県				
今泉 信一 昭52北化1 郡山市	本多 洋一 昭50郡電子 神奈川県				
笠原 隆 旧職員(郡) 郡山市	菅野 弘士 昭34郡機A 神奈川県				
佐藤 昭馬 昭35郡機B 会津若松市	園分 貞郎 昭40郡機B 郡山市				
石井 孝 昭37郡電 茨城県	箭内 剛 昭34郡建 東京都				
鈴木 健司 昭40郡機B 安達郡	大戸 進一 昭39郡建 須賀川市				
橋本 徳保 昭44郡工化 神奈川県	奥山 萌 平22北化 郡山市				
小山 良一 昭33郡建 神奈川県	吉田 豊 昭36郡機B 神奈川県				
阿部 文英 旧職員(郡) 郡山市	秋葉 史裕 旧職員(北) 福島市				
膳所 博美 昭42郡電子 三重県	菅野 吉男 昭62北機1 田村市				
高原 三郎 昭27郡機 愛知県	吉成 誠一 昭62北機3 埼玉県				
松本 敏 昭39郡機B 神奈川県	小池 征男 昭34郡機B 茨城県				
谷津 将康 昭37郡電 埼玉県	石井 敏男 昭35郡電 神奈川県				
佐藤 勝 昭40郡機A 埼玉県	橋本 秀男 昭44郡工化 千葉県				
伊藤 正広 昭54北電1 郡山市	鈴木 悦雄 昭42郡電 千葉県				
伊藤 良広 昭52北機2 郡山市	増子 哲 昭23郡機旧 郡山市				
関 勝彦 昭40郡定機 千葉県	吉田 浩二 昭47郡機A 須賀川市				
鈴木 功 昭30郡機A 東京都	遠藤 神雄 昭31郡建 埼玉県				
栗山 芳光 昭39郡電子 神奈川県	佐久間 島江 昭41郡機B 郡山市				
石井 忠一 昭39郡建 須賀川市	菅浪 正樹 平17北環 郡山市				
八代 正雄 昭34郡電 茨城県	管浪 翔太 平19北情報 郡山市				
橋本 吉明 昭43郡工化 神奈川県					

協力金のお礼とお願い

会報発送に併せて協力金をお願い致しましたところ、99件の皆様よりご協力を頂戴いたしました。激励金と増税による支出増加で会計が逼迫しており、誠にありがとうございました。協力金は同窓会運営のために有効に利用させて頂きます。

協力金の送付は、会報に同封された郵便払込取扱票をご利用ください。なお、金額欄、ご依頼人の欄に必要事項をご記入のうえ、郵便局で振込んでください。何口でも構いませんので、無理のない範囲で数多くの方からご支援をお願いいたします。

郵便払込票は2種類同封しております。もう片方の払込用紙は、定期総会の申し込み用となっております。お間違えのないようお願いいたします。

DO AMENITY
ビル総合管理

株式会社 東北セイワ

代表取締役 森田 明孝

本社 / 福島県郡山市堤三丁目186番地
TEL:024-952-8355 FAX:024-952-8377
E-mail:t-seiwa@topaz.plala.or.jp
http://tohoku-seiwa.co.jp

ビル総合管理
建築物設備管理保全業務
消防防災設備保守管理・工事
特殊建築物調査 / 建築設備検査
建築物環境衛生管理業務
水道工事 / 管工事

冷暖房機器保守管理・工事
空調機器保守管理・工事
省エネルギー工事
節水システム販売・工事
防犯設備 / 住宅火災警報器
造園設計施工

壁紙を自由にデザインできます。

ヨシダのフリーデザイン壁紙

安心のF☆☆☆☆で高い安全性と防火対応
フリーデザイン壁紙はホルムアルデヒドの発散量が最も少ない4スターを取得しています。また、VOCも極めて少なくなっています。また、防火にも対応しています。防火認定番号NM-2737

担当...三高(北工2期 電気科卒)

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション

株式会社 ヨシダ

ヨシダコーポレーション

〒963-0724 福島県郡山市田村町上行合字北川田22-1
TEL:(024)942-0005(代) FAX:(024)942-2233
URL http://www.media-yoshida.co.jp

東北旅一第850号・福島県知事登録第2-102号

(有)東北観光ツーリスト

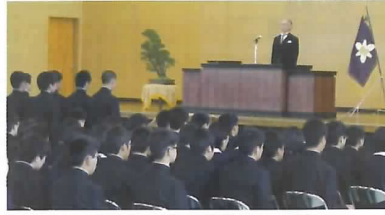
(貸切バス・旅行企画募集)
各手配・レンタカー

福島県郡山市並木4丁目1-1
TEL:024-938-8577 FAX:024-938-8579

北工の1年



全日本発明工夫展 内閣総理大臣賞を受賞



入学式 新しい挑戦が始ります



iCAN世界大会へ向けて激励金を贈りました



球技大会 チームワークで勝利!



iCAN念願の世界一! First Prize獲得



福島県高校生ものづくり競技大会 電気工部門



激励金贈呈
パソコン甲子園、競技ロボット、みんなde笑顔など



機械科 アルミ鋳造実習



フォーラム21が見学に来校しました



みんなde笑顔プロジェクト 全国決勝大会 電気部



第2期除染作業 屋上除染



コンピュータ部がラスベガスの展示会へ参加

ゴルフコンペのご案内

- 平成27年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。
多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方は事務局までご連絡下さい。
- 日付：平成27年6月27日(土) ●場所：郡山ゴルフ倶楽部
- 定員：約30名程度
- 申込：同窓会総会申込用紙に「ゴルフコンペ参加希望」と記載、もしくは同窓会事務局まで申し込みください。
TEL.024-932-1199 FAX.024-935-9849



事務局だより

本年度も皆様のご協力により65号会報を発行することができました。心より感謝申し上げます。
今年も北工にとって、大きな飛躍の年でありました。3月末に電気部の内閣総理大臣賞受賞を皮切りに、コンピュータ部のマイクロナノアプリケーションにおいて、念願の世界大会グランプリを獲得して、日本に北工ありという活躍を見せていただきました。
今年の総会では全国大会で活躍する生徒たちに、同窓会より激励金を贈呈する規約を制定して現役生に直接エールを贈れるようになり、現在まで9件の激励金を贈ることができました。
4月は消費税も上がり、全体的に経費が増大しております。本会の運営に際しまして大変厳しい所ですが、数多くの皆様のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。これからはIT活用や運営体制のスリム化などを経費節減を進めてまいります。負担の少ない範囲で数多くの皆様のご協力を頂き、在校生支援・同窓会運営を行って参りたいと思っております。最後になりますが、同窓生の皆様のご活躍とご健康を祈念いたします。

発行所 福島県立郡山北工業高等学校同窓会
事務局 〒963-8052 福島県郡山市八山田二丁目224番
☎024(932)1199 FAX 024(935)9849
E-Mail dousou@koriyamakita-th.fks.ed.jp

発行人 古川 弘
発行部数 18,000部
発行日 平成27年2月20日(金)



株式会社 ワタナベ建装

本社 〒963-8815 福島県郡山市水門町185-1
TEL024-943-0390(代表) FAX024-943-6748
☎ 0120-17-0390

マイクロバス(29人乗り)・ワゴン車(10人・7人乗り)・乗用車
ライトバントラック(軽・1t・2t)・アルミバン(2t・3.5t)・3t積車載車
冷凍冷蔵庫(軽・2t・3t積)の御用命は……

有限会社
郡山中央レンタカー

TOUGH MS&AD INSURANCE GROUP
あいおいニッセイ同和損保 代理店

代表取締役 渡邊 康博

郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3
☎ (024) 924-0844 932-8828
FAX (024) 934-5334 〒963-8061
URL: http://www.kcr.jp